



COMPANY PROFILE

会社案内 2026-2027



代表取締役 兼 社長執行役員 CEO

大村 泰弘

挑み続けるニコンへ

2026年4月から、代表取締役 兼 社長執行役員 CEOに就任した大村です。

100年以上の歴史を持つニコンの社長を務めることに責任の重さを感じています。

1917年の創立以来、ニコンは光の可能性を追い求め、新たな価値を提供し続けてきました。

2026年度から始まった新中期経営計画では、ニコンの企業価値向上に向けて

「短期の業績回復」と「長期成長のための投資」を両立させ、

当社のVisionである「人と機械が共創する社会の中心企業」の実現に向けて挑戦していきます。

そのために、まずは財務規律やバランスシートを重視し、守りをしっかりと固めた上で、

新事業も将来の企業価値向上につながるものを取捨選択し、

時間軸を意識しながら適切に資源投入を行っていく所存です。

また、これまでニコンが取り組んできた「自社製品の精度や強靱性に挑み続ける」姿勢に加え、

今後は、「お客さまのニーズ・実現したいものに挑み続ける」、

「製品の生産コストやお客さまに届けるスピードにも挑み続ける」会社になります。

「人と機械が共創する社会の中心企業」の実現に向けて

世界中の2万人の社員とともに、全力で挑み続けていきます。

企業理念・ビジョン

■ 信頼と創造

● 企業理念

■ **Unlock the future with the power of light**
“光の可能性に挑み、未来を変える”

● **Mission**

■ 人と機械が共創する社会の中心企業

● **Vision**

■ 「お客さまのニーズ、実現したいものに挑み続ける」

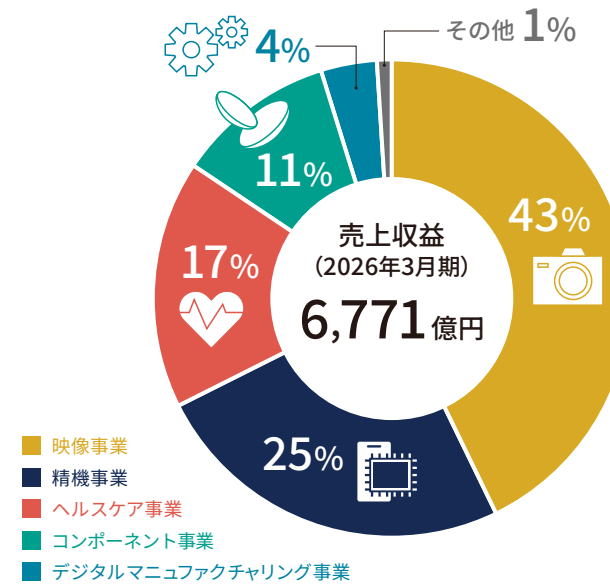
■ 「コスト、スピードに挑み続ける」

■ 「製品の精度や強靱性に挑み続ける」

● **Values**

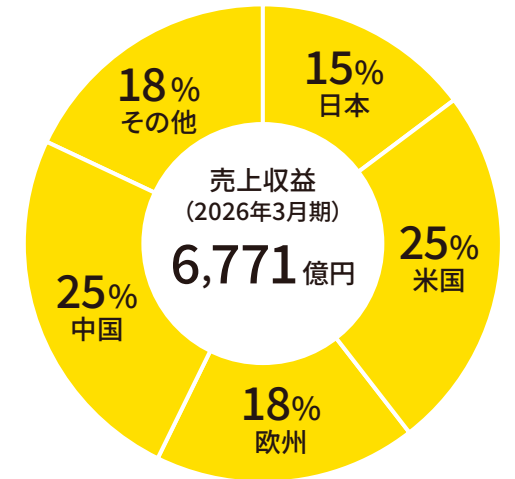
会社情報 Company Information

事業別売上収益構成比（2026年3月期）



※ 本資料で使用している数値は、億円未満を調整しております。
また、構成比は小数点以下を四捨五入しています。内訳の計が100%にならない場合があります。
※ 2026年3月時点での事業セグメントで定義しています。

地域別売上収益構成比（2026年3月期）



グローバル展開

日本、アメリカ、ヨーロッパ、アジアなど
世界に約100の拠点を配し、グローバルに展開。



株式会社ニコン（日本）



Nikon Inc.（アメリカ）



Nikon Europe B.V.（オランダ）



Nikon (Thailand) Co., Ltd.（タイ）

会社概要

社 名 株式会社ニコン
(英文社名) NIKON CORPORATION

本 社 140-8601 東京都品川区西大井1-5-20
Tel (03) 3773-1111

代 表 者 代表取締役 兼 社長執行役員 CEO
大村 泰弘

設 立 1917年（大正6年）7月25日

事業内容 光学機械器具の製造、ならびに販売

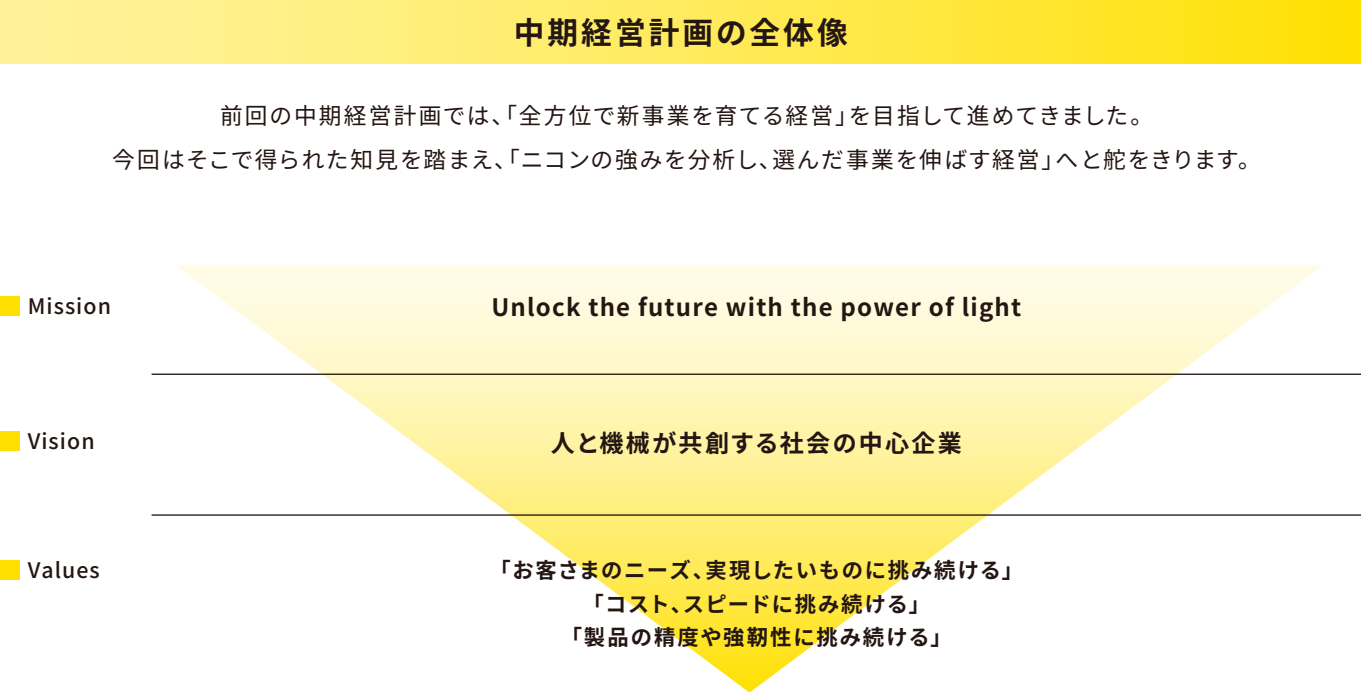
資 本 金 655億円（2026年3月末現在）

売上収益 連結6,771億円（2026年3月期）

従業員数 連結19,928名（2026年3月末現在）

製 作 所 相模原製作所、熊谷製作所、
水戸製作所、横須賀製作所

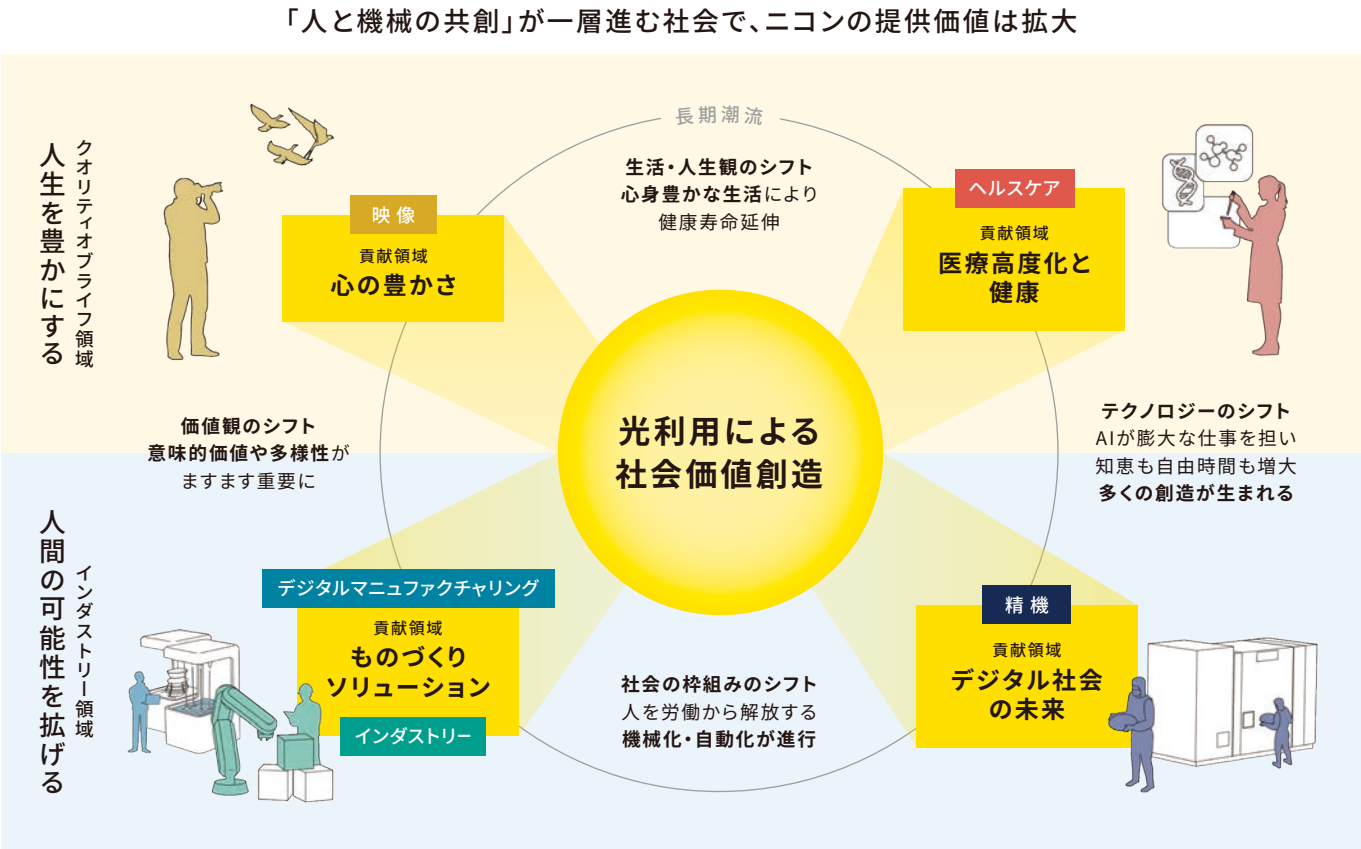
ニコンはVisionとして「人と機械が共創する社会の中心企業」を掲げ、その実現に向かう第2フェーズとして2026-2030年度を対象とする中期経営計画を策定しました。本計画では中長期的な展望として、10年後の2035年までの経営環境の変化や事業戦略、長期潮流や社会ニーズの変化などを踏まえたうえで、バックキャストで2030年の目標を設定しました。この計画に沿った取り組みにより、企業価値の持続的な向上を目指します。



2030年度 数値目標	売上収益	営業利益	全社ROIC	ROE
	1兆円	800億円	7%	10%

長期潮流とニコンの貢献領域

前回の中期経営計画で描いた長期潮流、いわゆるメガトレンドは想定以上のスピードで変化しています。人と機械の共創が一層進み、活躍できるフィールドが広がったいま、ニコンは大きく4つの領域で社会に貢献していきます。



事業ポートフォリオ

長期潮流やニコンの経営環境、各ビジネスの状況を踏まえ、事業ポートフォリオを再定義しました。映像、ヘルスケア、インダストリーで創出するキャッシュを、デジタルマニュファクチャリングと精機に投入し、2030年以降の本格的成長を目指します。バランスシート・キャッシュコントロールを重視しながら、特に「デジタルシネマカメラ」「大型金属3Dプリンター」「ArF液浸露光装置・デジタル露光装置」の3つの分野に注力していきます。

主たる 役割	事業領域	ビジネス内容		ターゲット市場						2026年度 売上計画 (億円)	2030年度 売上計画 (億円)
				QOL領域		産業領域					
		コア	成長 (太字は注力分野)	クリエ イター	創業/医業	防衛	航空/宇宙	自動車/ エネルギー	半導体/ 電子部品		
安定利益 創出	 映像	ミラーレスカメラ 双眼鏡/距離計	デジタル シネマカメラ							3,030	3,800 ⬆ +25%
	 ヘルスケア	ライフサイエンス アイケア	細胞受託生産							1,270	1,500 ⬆ +18%
キャッシュ 投入	 インダストリー	光学コンポーネント ^{*1} 画像測定システム 工業用顕微鏡、特注機器	X線/CT検査装置 レーザーレーダー ロボティクス関連							840	1,100 ⬆ +31%
	 デジタル マニュファクチャリング	—	大型金属 3Dプリンター							340	700 ⬆ +106%
企業価値 最大化 に挑戦	 精機	FPD露光装置 半導体測定/計測/検査 サービス	半導体露光装置 デジタル露光装置							1,880	2,900 ⬆ +54%
										7,400 ^{*2}	10,000 ⬆ +35%

*1 光学素材・部品、EUV関連コンポーネント、フォトマスク基板、産業用光学レンズ・ユニットなどを含む *2 2026年度売上にはその他40億円が別途含まれる

カメラをはじめ、FPD / 半導体露光装置、顕微鏡、光学コンポーネント、金属3Dプリンター、測定・検査システムなど、多彩な製品やソリューションを提供しています。

映像事業 光とともに心を豊かに

Z9
[ミラーレスカメラ]

静止画、動画ともにニコントップクラスの機能・性能を搭載したミラーレスカメラのフラッグシップモデル。



Z5II
[ミラーレスカメラ]

上位機種同等の高性能を実現し、暗いシーンへの対応力と一瞬の動きを捉える撮影性能が向上。



ZR
[デジタルシネマカメラ]

ニコンとRED社の技術を融合した「Z CINEMA」シリーズより誕生した、フルサイズセンサー搭載カメラ。RED機と同等のカラーマッチを実現。



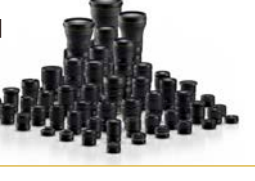
V-RAPTOR XE
[デジタルシネマカメラ]

「Z CINEMA」シリーズの一つ。革新的な性能を多数搭載したRED社の「V-RAPTOR [X]」からシネマティックな映像制作に必要な不可欠な機能を厳選したモデル。



NIKKORレンズ
[カメラ用交換レンズ]

新次元の光学性能を誇るNIKKOR ZとNIKKOR Fのレンズラインナップ。



NX Field
[法人向けリモート撮影システム]

複数台のカメラを連動させ、遠隔での撮影や画像送信をサポート。



COOLSHOT PROIII STABILIZED
[ゴルフ用レーザー距離計]

「COOLSHOT」シリーズ最高峰。0.1秒で目標までの距離の測定、表示が可能な手ブレ補正機能搭載モデル。



STABILIZED 12x25 S
[双眼鏡]

視界の揺れを低減し、鮮明で快適な観察を実現する手ブレ補正機能付き双眼鏡。



MONARCH フィールドスコープ 82ED-S
[フィールドスコープ]

磨きぬいた光学系により、シャープでクリアな視界を実現。



インダストリー事業 光で繋げるソリューション

光学コンポーネント

光学コンポーネントの設計から試作、量産まで幅広く提供。



APDIS MV5X
[レーザーレーダ]

小型・軽量でありながら高速・高精度な非接触自動測定を実現。



「NEXIV VMF-K」シリーズ
[画像測定システム]

多彩な部品の寸法を高速・高精度に自動測定。二次元寸法と高さ寸法の視野内一括測定が可能。



VOXLS 20 C 225
[X線CT検査装置]

コンパクトなシステムで、幅広いサンプルの高精度な非破壊検査・測定を実現。



光通信用光学系
(光衛星間通信用光学系)

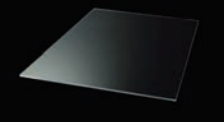
JAXAの光データ中継衛星と先進レーダ衛星のそれぞれに搭載された、NEC社開発の光衛星間通信機器向け光アンテナに光学部品が採用。約40,000kmの高速大容量通信の実現に貢献。



光衛星間通信システム「LUCAS」
© JAXA

FPDフォトマスク基板

精密研磨・成膜・計測技術を駆使し、高品質、高付加価値なFPDフォトマスク基板を提供。

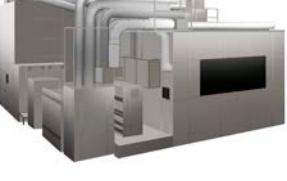


精機事業 光×精密を極めデジタル社会を支える

FPD装置事業

FX-88SL
[FPD露光装置]

FPD露光装置として初めてUV-LED（紫外線LED）光源を採用し※、高解像かつ高生産でありながら環境負荷低減を実現。



※ 2025年10月23日時点で発表済みのFPD露光装置において。ニコン調べ。

半導体装置事業

NSR-S636E
[ArF浸液スキャナー]

重ね合わせ精度とスループットを高レベルで両立したクリティカルレイヤー向け露光装置。多様化するデバイス構造への課題にソリューションを提案。



Litho Booster 1000
[アライメントステーション]

露光前の全ウェハのグリッド歪みの絶対値を高速・高精度に計測。補正値を露光装置にフィードフォワードすることで高精度な重ね合わせ補正が可能となり、半導体製造の歩留まり向上や設備投資効率の向上に寄与。



DSP-100
[デジタル露光装置]

ニコン初の後工程向け露光装置。半導体のアドバンストパッケージング向けに、1.0μm (L/S) の高解像度かつ600mm角の大型基板に対応。高解像と高生産性を両立させた、マスクレスの露光装置。



デジタルマニュファクチャリング事業 光を操りものづくりを革新

アドバンストマニュファクチャリング事業

NXG 600E
[金属3Dプリンター]

SLM社の最先端技術により、かつてない生産性と品質を実現。12基の1kWレーザー搭載で、最大600mm×600mm×1500mmの部品製造が可能。



「Lasermeister LM300A」
「Lasermeister SB100」
[金属3Dプリンター、3Dスキャナー]

「Lasermeister LM300A」と「Lasermeister SB100」が連携することにより、高精度かつ自動化されたタービンプレードや金型などの補修ソリューションを提供。



「Lasermeister 1000S」シリーズ
[レーザー除去加工機]

超短パルスレーザー加工と机上計測を1台で行い、高精度・高難度な加工を容易に実現。除去加工時の計測データを活用することで、属人的な工程の削減や統合、品質管理の簡素化などDXに貢献。



ヘルスケア事業 光の力で生命の未来を照らす

ECLIPSE Ti2-I
[ICSI/IMS用電動倒立顕微鏡]

不妊治療の顕微授精に特化。必要な設定を手元のボタンやディスプレイに集約することで顕微鏡操作の工程数を大幅に削減し、効率化を実現。



※ 株式会社ナリングライフメッドのマニピュレーター装着時

ECLIPSE Ji
[デジタル倒立顕微鏡]

観察から解析までのすべての作業をAIがアシスト。効率的なイメージングワークフローでデータ取得の成功率を向上させるベンチトップ型倒立顕微鏡。



細胞受託開発・生産サービス

再生医療用細胞および遺伝子治療用細胞のプロセス開発と生産サービスを提供。



Silverstone
[SS-OCT付き超広角走査型レーザー検眼鏡]

眼底の約80%の領域をカバーする超広角画像と、超広角画像内の任意の位置での網膜断面画像を1台で撮影可能。



その他

ビジョンロボティクス事業

ロボットビジョンシステム

ロボットに取り付けて使用するビジョンシステムは、目に相当するカメラと頭脳に当たる制御PCで構成。独自の高速センシング技術で自動化を促進し、製造業をはじめとする産業で省人化や生産性向上に貢献。



関連会社

株式会社 ニコン・エシロール

近視、遠視、乱視の視力矯正用の「単焦点レンズ」や老眼対策用「遠近両用レンズ」、紫外線やまぶしさから目を保護するレンズなど、幅広いメガネレンズ製品を製造・販売。



株式会社 ニコン・トリンプル

調査・測量から設計、土木・建築施工、維持管理までの一連の建設プロセスに対して、フィールドとオフィスをつなぐソリューションを提供。また精密農業、地理空間情報、自動運転の分野においても、最先端の技術、ソフトウェア、サービスを提供。



ニコンは、100年以上の歴史で培った先進の光利用技術と精密技術を基に、多彩な製品やサービス、ソリューションをグローバルに提供しています。また、多様化・高度化するニーズに確かな技術力で応えるために、ニコングループ全体で柔軟なものづくり体制を築いています。ニコンはこれからも、「心の豊かさ」「医療高度化と健康」「ものづくりソリューション」「デジタル社会の未来」に貢献する新たな価値を創造し続けます。

ニコンは、サステナビリティ重視の経営により、持続可能な社会への貢献と自社の持続的な成長の双方を目指しています。その実現に向けて、「価値創造のための重点テーマ」と、その土台となる「持続的成長を支える経営基盤」の両輪で取り組みを進めていきます。

価値創造のための重点テーマ

中期経営計画で示した4つの貢献領域で「事業による社会価値創造」を推進することを掲げたうえで、そのために「多様な人材と組織力の強化」および、顧客・協力会社・サプライヤーとの共創を意味する「共創型バリューチェーンの深化」にも力を注いでいきます。また、人・社会・地球環境の課題に向き合い、持続可能な社会の一員としての責任を果たすために「信頼向上のための重点テーマ」も特定し、取り組みを進めます。



持続的成長を支える経営基盤

サステナビリティを重視した経営を行っていくためには、それを支える各領域の推進も欠かせません。ニコンは、持続的な成長を支える経営基盤として、「人的資本の“獲得”から“育成”への本質的転換」「変化に強いものづくりとそれに向けた生産拠点整備」「顧客・従業員を重視したビジネス改革のためのDX」「グローバルガバナンスと情報セキュリティの強化」「社会からの信頼に応える誠実な情報開示と、人権や環境への取り組み強化」の5つに重点的に取り組んでいきたいと考えています。厳選した投資と専門人材の投入・育成により、実行力と統制を同時に高め、強固な経営基盤を築いていきます。



NIKON MUSEUM

